



市内の保育園

第3回定例会
一般質問①
橋爪明子



使用済み紙おむつの処理問題

Q 保育園児が使用した紙おむつの処理は、市内保育園での処理に移行しているが、双葉保育園で実施できていない理由、改善の手立てや支援していく考えはあるのか。

A 保管場所の確保や、保育室から保管場所への搬出の課題などもあり、園の運営上の判断で、強制はできないが、市としてもどうしたら課題をクリアできるのか園と検討していきたい。

Q 使用済み紙おむつの収集は、環境クリーンセンターが週2回収集しているが、衛生上の観点から毎日収集できないのか。

A 公立2園と認可保育所に確認したところ、特段の支障はないとのことだが、月1回の定例会議などで、園の要望を吸い上げていきたい。



日本共産党返子市議団



岩室年治



橋爪明子

2021年10月 臨時号⑤

事務所 沼間2-15-4 871-1321
市役所 873-1111 内線418
岩室自宅 fax 871-7969

コロナ対策



登校する小学生

Q 感染力が強いデルタ株が主流の第5波は、中高年や若い世代に広がり、本市でも子ども達への感染が広がっている。9月からの授業開始にあたり学校内の感染対策などどのように対応しているのか。

A 若年層への感染拡大が夏休み期間中であったことから、ほぼ家庭内感染であったと捉え、夏休みの延長が必ずしも感染抑制につながるとは限らないと考え、予定通り学校を再開し、児童・生徒の生活リズムを取り戻させることが重要と判断した。授業再開にあたり、臨時校長会を

開催し、課題を共有し、基本的な感染対策の強化を指示した。

Q 神奈川県は、自宅療養者のうち悪化リスクの高い方の医療ケアを地域医師会が行う「神奈川モデル」を実施し、9月27日から逗葉医師会も始めたが、保健所と連携を強化して、市内の自宅療養者全員の医療ケアは出来ないのか。

A 感染者の情報は県が一元管理し、市に詳しい情報が提供されていないことから、市が単独で行える範囲は少ない。まずは、医師会と連携を深めて、神奈川モデルを実践していきたい。

A 自宅療養者・濃厚接触者への日常支援について

Q 自宅療養者に対しては、県の食料などの配送が届くまで3日から4日かかるため、その間、食糧支援やゴミ出しなどを行っている。現在は1日から2日で県から配送されるが引き続き支援していく。濃厚接触者に対しては、8月以降自宅療養者の増加に伴い、濃厚接触者に対する支援も柔軟に対応している。

コロナ禍の学校行事

Q コロナ禍、今年度は、各学校工夫して運動会が実施され、小中学校の修学旅行も予定されているが、中学校の体育祭や合唱祭、小中学校の卒業式などの実施も予定されているのか。

A 体育祭は沼間・逗子中学校がすでに実施し、久木中学校は、学年ごとに行うか検討中。合唱祭は感染防止の観点から、中止或いは延期を検討中。卒業式は実施する予定。

下水道使用料改定について

Q 下水道事業の赤字が顕在化し、使用料を平均25%引き上げる改定についてパブリックコメントが行われているが、平均的な使用料の家庭では、年間で4,248円の値上げとなる。コロナ禍で市民の負担も大きいことから、段階的に引き上げる考えはないのか。

A 現行の下水道料金は平成17年に改定されたまま、16年間据え置き、他の自治体が何度か値上げの改定を行っているときも逗子は値上げをこななかった。企業会計に移行して、令和元年度と2年度の決算で2億5,000万円の赤字になっており、監査からの指摘もあり、下水道審議会には改定すべしと諮問した。

①コロナ感染拡大の影響等も考慮し来年の改定を7月1日に遅らせ、②最大使用者数のところは20%の上昇に抑え、可能な限りの配慮をさせていただいた。



16日、下水道使用料の市民説明会